

I 政策局

熊本市の現況と未来



令和5年(2023年)2月21日
「熊本市役所仕事まるわかりセミナー」全体ガイダンス
熊本市政策局総合政策部 政策企画課

目次

- I 熊本市の概要
- II 市政の最優先課題
- III 総合計画

目次

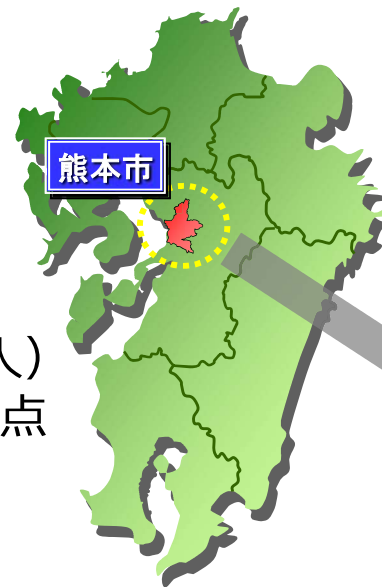
I 熊本市の概要

II 市政の最優先課題

III 総合計画

1 熊本市の現況

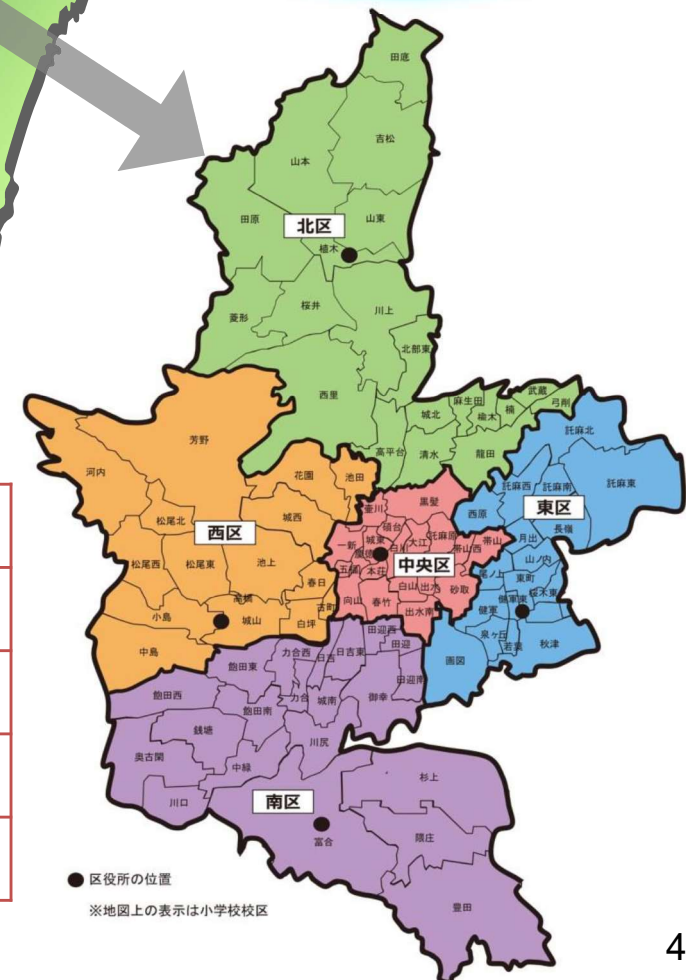
- ・人 口：738,469人
(令和4年10月1日現在推計人口)
- ・人口密度：約1,900人
(北九州市約2,000人、京都市約1,800人)
※ 令和4年10月1日時点



全国で20番目、
九州で3番目の
政令指定都市に

・熊本市の沿革

平成20年10月	富合町と合併
平成22年 3月	城南町、植木町と合併
平成23年 3月	九州新幹線全線開業
平成24年 4月	政令指定都市へ移行
平成28年 4月	熊本地震



● 区役所の位置

※地図上の表示は小学校校区

2 熊本市の特色

高度な医療環境

- 人口10万人あたり病院病床数（一般病床）1191床
（指定都市1位）
- 人口10万人当たり医師数 437.0人
（指定都市3位）
※令和2年4月1日時点

出典：「RESAS（地域経済分析システム）-医療需給-」



充実した教育機関

- 人口1万人当たり大学生数 342人
（指定都市7位）
※令和元年5月1日時点

出典：大都市比較統計年表

高い町内会加入率

- 町内自治会加入率 85.2%
（指定都市3位）
※令和3年4月1日時点

出典：本市独自作成



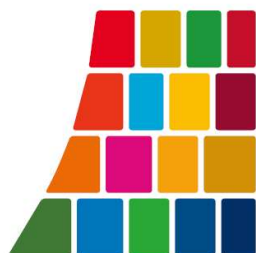
清らかな地下水

人口50万人以上の都市で、
水道水源をすべて地下水で
まかなっている都市は、熊本市だけ。

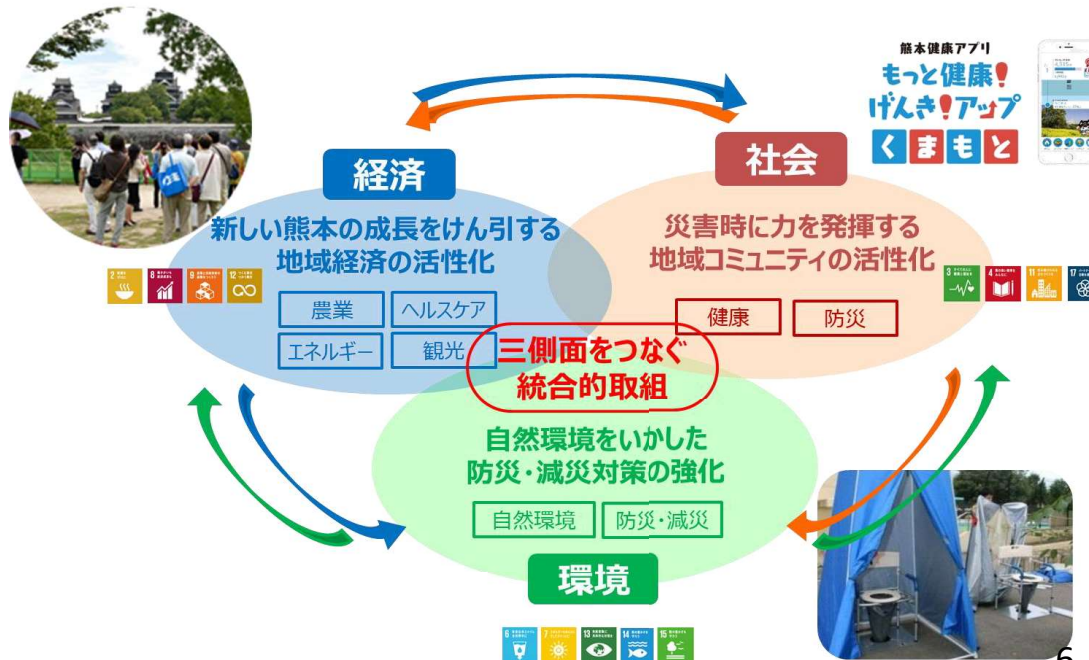


SDGs未来都市

2019年 モデル都市として認定
誰一人取り残さない持続可能なま
ちに取り組んでいる



Kumamoto
for SDGs



目次

I 熊本市の概要

II 市政の最優先課題

III 総合計画

1 新型コロナウイルス感染症対策

■ 感染状況



1 新型コロナウイルス感染症対策

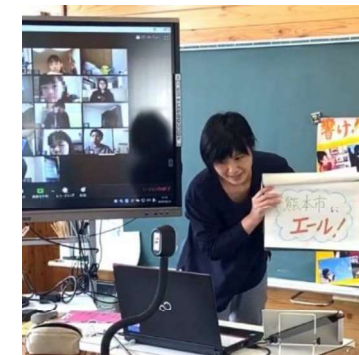
1 感染拡大防止対策

検査体制の更なる充実と強化
医療提供体制の充実
ワクチン接種の着実な実施 など



2 市民生活を支える

生活困窮世帯への支援、自殺予防対策
地域活動や文化・スポーツ活動への支援
オンライン教育 など



3 地域経済を支える

中小企業等の事業継続、雇用維持
飲食店等の感染拡大防止への支援
消費喚起、観光振興 など

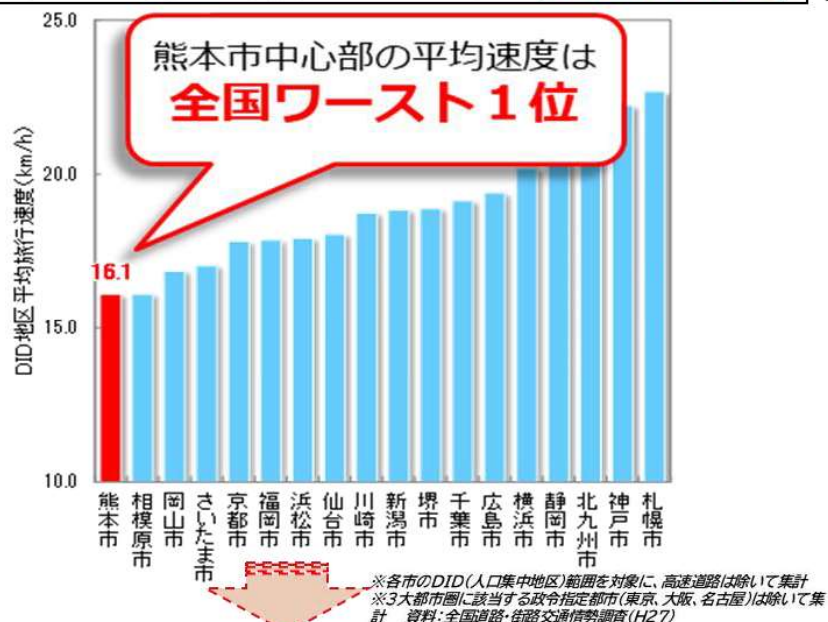


2 交通渋滞対策

■ 熊本都市圏の交通状況

□交通状況と渋滞による損失の試算

- 全国政令指定都市の中で熊本市の平均速度は全国ワースト1
- 市民の渋滞損失を試算すると、1人当たり約17～24万円/年。



1人当たりの損失額試算

【熊本市民】

約**17～24万円/年**



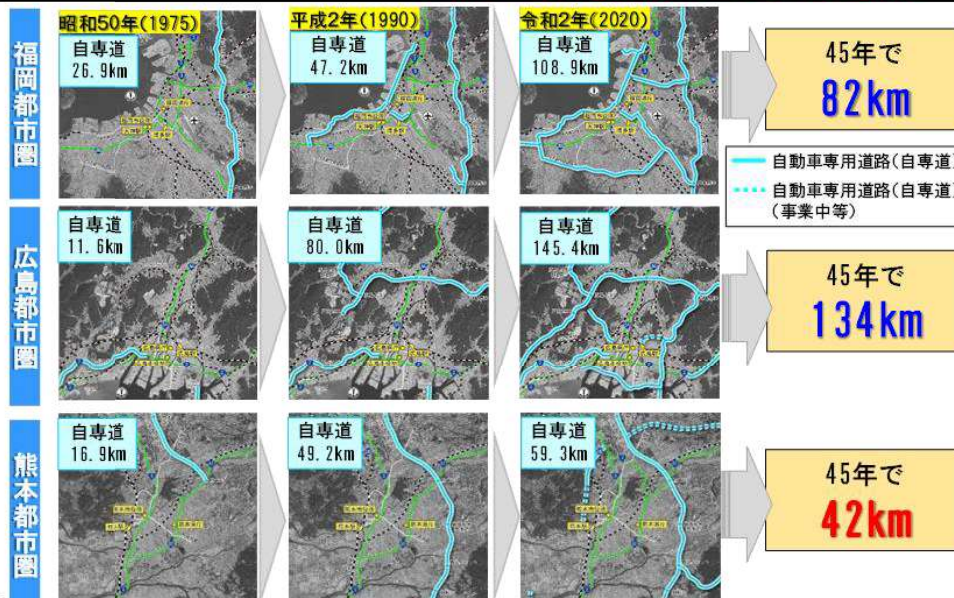
【熊本県民】

約**13～17万円/年**



□都市圏の道路網の比較

- 他の都市圏と比較し、熊本は**環状道路と中心部の道路整備が遅れている**。
- 他の都市圏と比較し、熊本は**中心部～交通拠点間のアクセス性が低い**。



▲熊本都市圏道路網の現状



出典: 熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会より

資料: H27道路交通センサス(混雑時旅行速度の上下平均値を用いて算出)

2 交通渋滞対策

■ 熊本都市圏の新しい高規格道路「10分・20分構想」

- 「熊本市中心部から高速道路ICまでを約10分」で結ぶ循環型ネットワーク、「熊本市中心部から熊本空港 までを約20分」で結ぶ定時性・速達性を兼ね備えた道路ネットワーク

熊本県新広域道路交通計画(令和3年6月策定)

■【新規路線のみ】広域道路ネットワーク計画(熊本都市圏拡大版)



出典: 第3回熊本都市道路ネットワーク検討会より

10分・20分構想

中心部～高速道路IC **約10分**
中心部～熊本空港 **約20分**



※既存計画路線については、供用中・事業中区間のみ表示
出典: 熊本県新広域道路交通計画「(R3.6)」より

2 交通渋滞対策

■ベストミックス

－熊本都市圏の地域特性に合わせた“ゆるやかな住み分け”－



まちなか (概ね中心市街地)	市街地部 (概ね東バイパス内)	周辺部 (概ね市域)	郊外部、広域
<u>人中心</u> の空間	<u>公共交通・自転車</u> が主体	公共交通と 自動車交通が <u>共存</u>	<u>自動車交通</u> が主体
	 		

3 少子高齢化・人口減少社会への対応

2040年熊本市人口:68万人(▲6万人)

65歳以上:22万人(+4万人)

15~64歳:38万人(▲8万人)

0~14歳: 8万人(▲2万人)

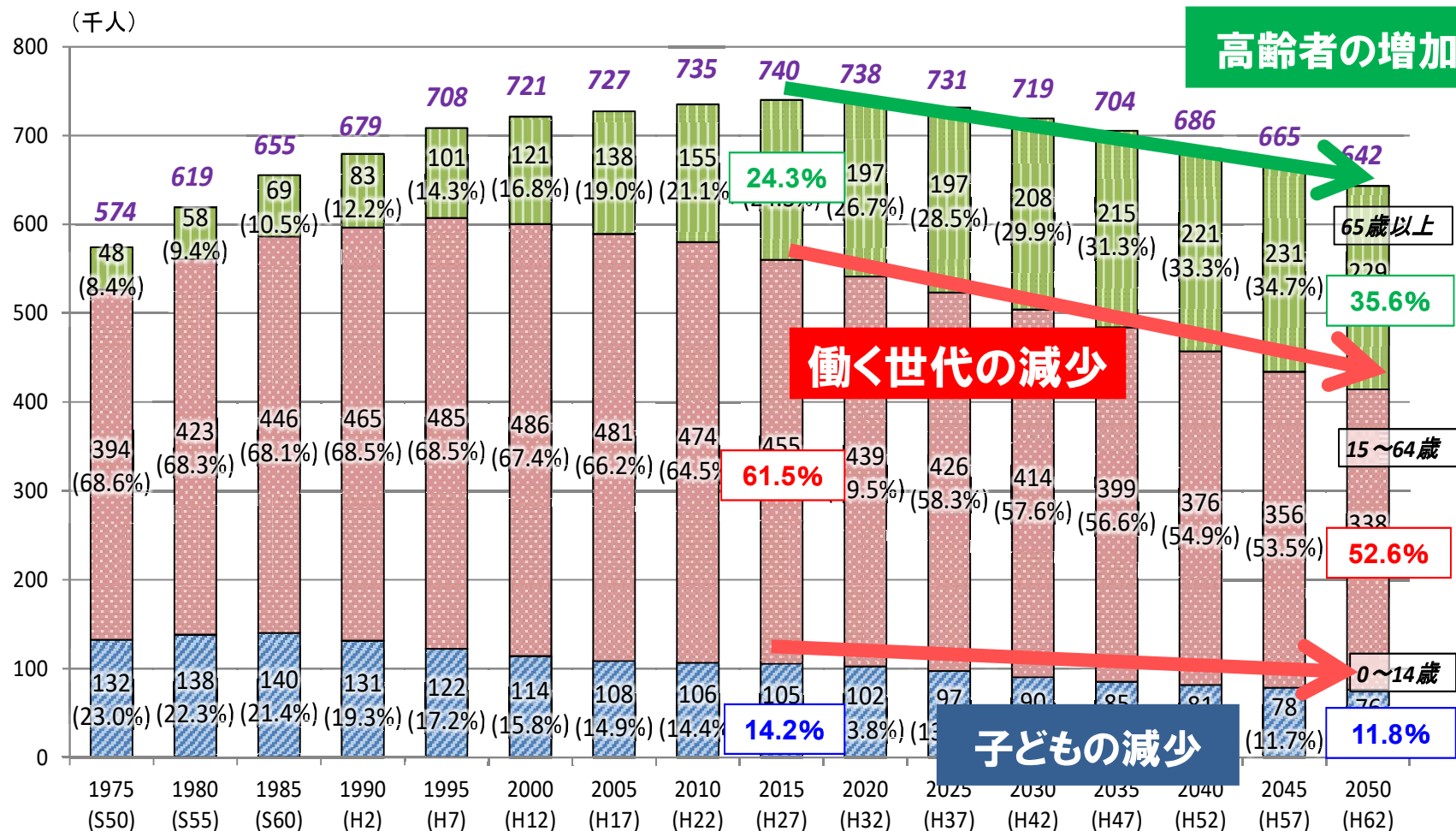


図 熊本市の将来人口推計 資料) 国勢調査及び熊本市人口ビジョン(趨勢のまま推移した場合の将来人口)

3 少子高齢化・人口減少社会への対応



■熊本市公式移住情報サイト

■小中学生のための “しごと学び”WEBライブ

→将来的な地元定着
及び人材確保



3 少子高齢化・人口減少社会への対応

■結婚・子育て支援

熊本市では結婚・妊娠・出産・子育てまで、あなたのライフステージを応援します！

熊本市 結婚・子育て応援サイト

サイト内検索



文字サイズ 拡大 標準

背景色 A A 標準

このサイトについて

結婚・婚活

子育てナビ

お出かけマップ

結婚子育て応援団

知りたい！Q&A

熊本市子どもの未来応援基金

子ども達が健やかに育つために
活動する団体を
応援しています！



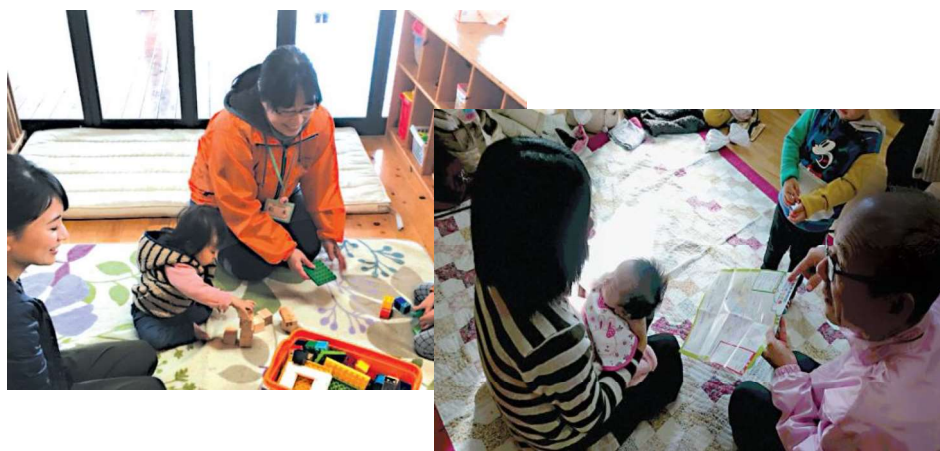
子ども達の未来へ皆様のあたたかいご支援をお願いします

1 2 3 4 5

病児・病後児
保育施設
空き状況

空き状況を見る

結婚応援団体



ようこそ赤ちゃんプロジェクト

現金 **10万円** を給付



妊娠＋面談
5万円



出産＋面談
5万円

対象 令和4年4月生まれから ※所得制限なし

受付 令和5年1月中旬スタート

目次

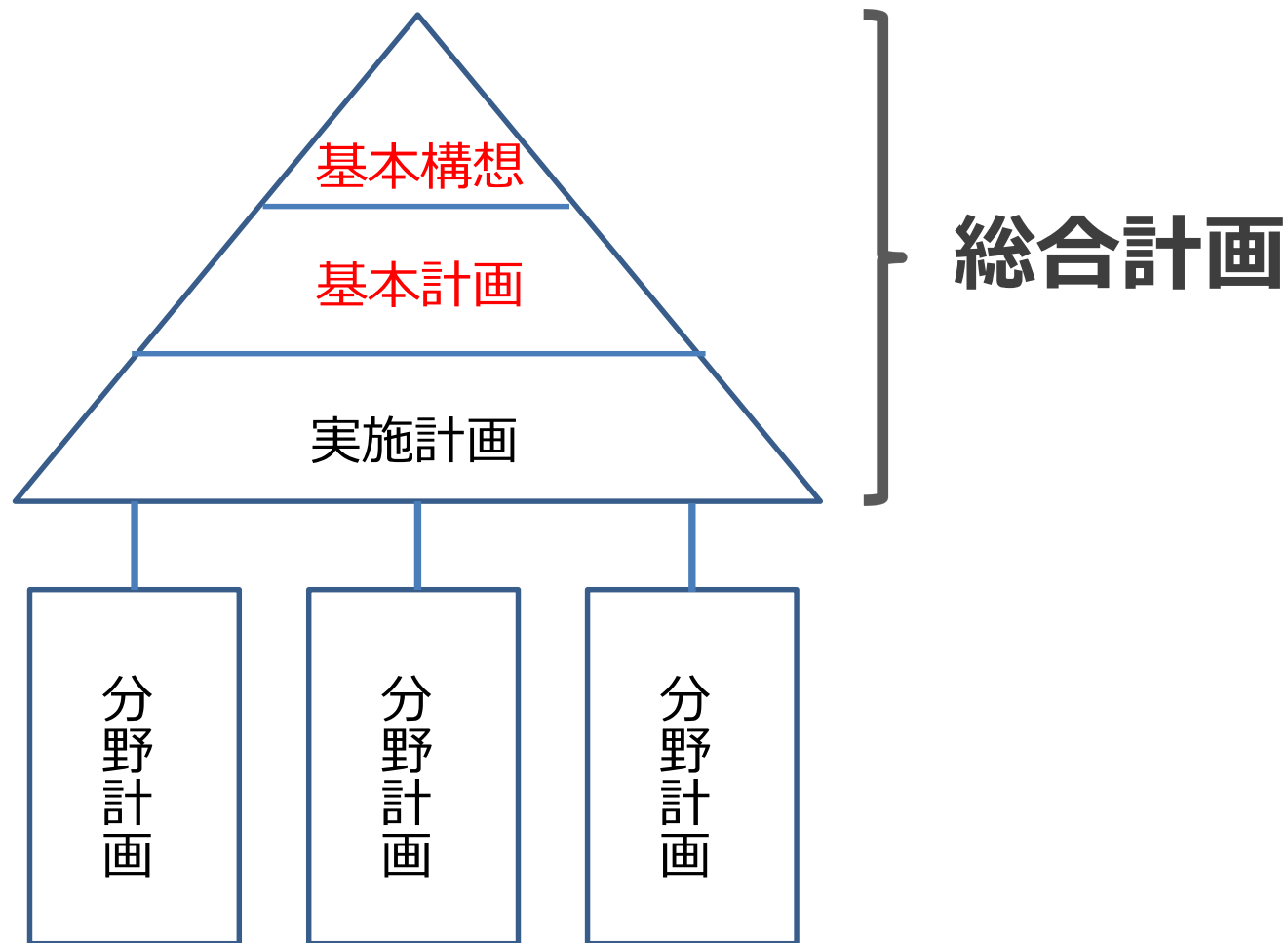
I 熊本市の概要

II 市政の最優先課題

III 総合計画

1 総合計画とは

- ・総合計画は、熊本市のまちづくりの設計書となる重要な計画
- ・熊本市の様々な計画の最上位の計画



2 第7次総合計画

めざすまちの姿

「上質な生活都市」

豊かな**自然**と**歴史・文化**に恵まれ、
あたたかい**ふれあい**に満ちた**地域**の中で、
お互いに支え合いながら**心豊か**で**幸せ**な暮らしが営まれ、
災害に強くだれもが**安心して暮らせる**まち。
そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに**誇り**を持ち、
夢や**希望**を抱いて、いきいきと**多様**な生活を楽しんでいるまち。

まちづくりの基本理念

まちづくりの原点は、「地域」、そして、そこに暮らす「市民」です。

「地域主義」

そのために、市民は、今以上に地域に目を向け、自らが主体となって、地域の中でつながり、互いに支え合い、楽しみながら地域が有する資源や特色をいかした自主自立のまちづくりに取り組みます。

そして、行政は、積極的に、市民の中に飛び込んで、地域の課題や市民の意見、要望などを的確に把握し、市民とともに解決を図っていきます。

2 第7次総合計画

まちづくりの8つの分野別取組



第1章 互いに認め支え合い、
だれもが平等に参画できるまち



第2章 安全で心豊かに暮ら
せる地域づくりの推進



第3章 生涯を通して健やか
で、いきいきと暮らせる保健福
祉の充実



第4章
豊かな人間性と未来へ飛躍で
きる力を育む教育の振興



第5章 誇るべき良好な自然
環境の保全と地球環境問題へ
の積極的な対応



第6章 経済の発展と熊本の
魅力の創造・発信



第7章 豊かな自然環境をい
かした活力ある農水産業の振
興



第8章 安全で利便性が高
い都市基盤の充実

3 次期総合計画の策定に向けて

■ 2022年度

6月～ : 第7次総合計画の検証

■ 2023年度

上旬 : 計画骨子策定

中～下旬 : 計画素案策定

2～3月 : 計画策定（議会承認）

■ 2023年度

4月～ : 次期総合計画スタート

★市民参画手法による意見反映

実施例:

- ・市民提案
- ・どんどん語ろう
- ・ワークショップ
- ・アンケート（紙・HP・SNS）
- ・パブリックコメント など